

人権チェックリスト



同和問題を口実にして、高額な書籍などの購入や寄附金などを、強要されたことはありませんか？

同和問題の解決を阻害する要因の一つとして、「えせ同和行為」があります。「えせ同和行為」というのは、「同和問題には関わらないほうがいい」などの人々の誤った意識に乗じ、同和問題に対する理解が足りないなどという理由で難癖を付けて高額な書籍を売りつけるなど、同和問題を口実として、企業や個人などに不当な要求を行う行為を指します。

チェック

企業や個人は契約自由の原則に基づき、物を「買う」「買わない」は自由です。必要と判断した物は買えばよいですし、反対に不必要な物は買わなくてもよく、断る理由もありません。

同和問題に対する正しい知識を身に付け、不当な要求に対しては、毅然とした態度で臨み、つけ入る隙を与えないことが大切です。

要求を受けたときは

- ・こわがらず、あわてず、ゆっくりと対応しましょう。
- ・不当な要求は、毅然たる態度で断固拒否しましょう。
- ・窓口担当者だけでなく、組織全体でバックアップしましょう。
- ・同和問題に理解がないなどと非難された場合は、「県などの公的機関に相談したい」と伝えましょう。

相談先

- 近くの警察署または法務局
- 県庁人権政策課、各振興局総務県民課

※えせ同和行為への対応については、法務省人権擁護局ホームページ内「えせ同和行為対応の手引き」（アドレス <http://www.moj.go.jp/content/000001602.pdf>）に詳しく記されていますので参照して下さい。

みんなで力をあわせて、すべての人の人権が尊重される豊かな社会を築いていきましょう。

NOSAI和歌山は「和歌山県人権尊重の社会づくり協定」を締結しています。